

第1章 丹波市の概要

丹波市は、兵庫県の中央東部に位置し、市内西部を南北に日本標準時子午線（東経135度線）が通り、北東では京都府、南東では丹波篠山市、南西では多可町、南では西脇市、北西では朝来市と境を接している。地形は、中国山地の東端に位置し、栗鹿山（標高962m）をはじめとする急峻な山々によって形作られた中山間地域となっている。

その山々の接点を縫うようにして二大河川の源流が走っており、一つは瀬戸内海へ注ぐ加古川とその上流河川であり、もう一つは日本海へ注ぐ由良川の上流河川（黒井川、竹田川）となっている。

特に市内の石生の「水分れ」は海拔95mに位置し、本州一低い中央分水界となっている。気候は瀬戸内海型、内陸型気候に属し、年間、昼夜間の寒暖差が激しく、秋から冬にかけて発生する丹波地域の山々をつつむ朝霧、夕霧は「丹波霧」と呼ばれ、豊かな自然環境に一層の深みと神秘さを醸しだしている。



かたくり



もみじ



雲海